

あなたはメディア記者！ 記者会見感覚LIVEセミナー

「ところでどうなの？ 国際共同製作」

～早稲田大学留学経験がある韓国人監督が 日本語で答える～

2014年、話題のキーワードは「記者会見」。記憶に残る数々のリアクションを繰り広げた会見がありました。記者会見のような先の読めない展開も魅力の一つと考え、一方通行の聴講セミナーではなく、会話のキャッチボールができるプチ参加型セミナーで開催します。「海外との共同製作って?」、「海外から資金調達するのも発想もひとつ?」、「信頼できるパートナーはどこで探すの?」・・・などの一步踏み出す前に頭をよぎる様々な不安や疑問。お隣、韓国・中国の映像業界関係者は、想像できないほど貪欲で他国との共同製作や交流に積極的です。安定した市場がある日本に居れば、感じるのは無理もないかもしれません。クランクインまでに経験する、様々な障害の話や他国との映像共同製作事情を知るのは海外の業界人から聞く事が一番早いのではないかでしょうか?

今回は国際共同製作を実現された日本語が堪能な韓国人監督チョ・ジンギュ氏をお招きし、業界最前線の話や、他国との共同製作の手順や資金繰り、ご苦労話などを伺います。映画公開の宣伝ではない、純粋な国際共同製作事例紹介をお楽しみ下さい。メディア記者になった感覚で、書物やネットでは調べられない裏話などを監督から聞き出せる、またとない機会です。皆様のご参加をお待ちしています。

■1 実体験で語る国際共同製作の舞台裏 ～こうして韓中共同制作映画が生まれた。

2015年公開予定作品の、資金の確保～準備～撮影～編集～公開までを解説します。

企画 / 準備 / 撮影 / 編集 / 公開 の実例を紹介

■2 海外からの映像制作費獲得方法

- ・出資してもらうための心得
 - ・映画祭などの企画市の活用法
 - ・業界内で聞いた他国との共同制作の苦労話（制作・商習慣の違いなど）
 - ・相手国のマーケットを知る。
 - ・共同制作の軸足は、どちらへ？

■3 「ところで どうなの？」

ご参加の皆様から 監督に聞きたい質問を事前にお伺いします。監督自身がお答えします。

■ 4 質疑応答

チヨ・ジンギュ（監督／制作会社代表）

1960年生まれ。大邱嶺南大学美術学部西洋学科卒業後、来日。日本映画学校で学んだ後 早稲田大学大学院文学部映画理論科卒業。帰国後、テレビ制作会社などを経て映画界へ。2001年に公開された初監督作品「花嫁はギャングスター」は500万人以上を動員し、当時の韓国映画歴代4位に記録される大ヒットとなる。以降も「ギャング・コメディ映画」を次々ヒットさせ、2012年公開の「結界の男」も韓国で約400万人を動員し、「福岡国際映画祭2013」では「熊本市賞」を受賞するなど、韓国映画界を代表するヒットメーカーである。また2006年「花嫁はギャンススター～ソウルウェディング」では、香港スター・スチーブを主演女優に起用。香港ロケを敢行するなど国際感覚を持つ、数少ない韓国人監督の一人。

花嫁はギャングスター3 ～ソウルウェディング～



日時 2014年11月21日(金) 18:00~21:00

会場 ソフト産業プラザ イメイズ (大阪南港 ATC)

空氣 20 兒

足員 30名
受講料 1,000円（支流会費込）

受講料 1,000円（交流会費込）
対 象 一具体的に他国とのコラボをお考えのエキスパート・講師

対象・具体的に他国とのコラボをお考えの方
・映像制作会社経営者・プロデューサー

・映像制作会社経営者・

・アジア映画業界にご興味がある方
主 催：日本映画プロデューサー協会

主催 ソト産業ノフサ イヌティオ
協力 有限会社ラシャナル・エンターテイメント

